

概要

複数のサーバ管理を効率化するため、Ansibleサーバをインストールします。

前提・概要

今回は検証のため、単純構成。

1. Ansibleのホスト
2. Ansibleのクライアント

の2台構成であり、両方とも同じネットワークに属しています。

また、OSは共にUbuntu20.04です。

本項では、「Ansibleのホストサーバ」の設定を行います。

Ansibleホストの設定 (Ubuntu20.04)

Ansibleをインストールします。

```
sudo aptitude update
sudo aptitude install ansible
# 筆者はapitudeの方が好みます。必要に応じてaptを利用してください。
```

ホスト~クライアント間のSSH鍵を生成します。

Ansibleホスト~クライアント間はSSHで通信を行うので、鍵のペアを作成します。また、ローカルネットワークのためパスワードは省きます。

- 鍵作成

```
ssh-keygen -t ecdsa-b 521
# 後続のプロンプトは全て空Enterにします。
```

```
ssh-copy-id [Ansibleホストのユーザ名]@[AnsibleクライアントのIPアドレス]
# Ansibleホストのユーザ名のパスワードを入力して鍵を登録します。
```

- SSH通信確認

```
ssh [Ansibleホストのユーザ名]@[AnsibleクライアントのIPアドレス]
# SSHログインを確認します。
```

```
exit
# ログアウトします。
```

Ansibleホスト側の設定

- 設定ファイルのコピー(ansible.cfg)

```
sudo c -pi /etc/ansible/ansible.cfg /path/to/backup/directory/ansible.c$(date +%Y%m%)
# 任意のバックアップディレクトリを指定します。
```

```
diff -u /etc/ansible/ansible.cfg /path/to/backup/directory/ansible.c$(date +%Y%m%)
# 差分がないことでバックアップを確認します。
```

- 設定ファイル修正

以下のファイルを、教義・信仰に沿ったエディタで編集します。

/etc/ansible/ansible.cfg

- 編集内容

```
[defaults]
inventory          = /etc/ansible/hosts
remote_user        = your_username
private_key_file   = /home/your_username/.ssh/id_ecdsa
# 上述した鍵ペアの「秘密鍵」の方を指定します。your_usernameはそれを作成したユーザ名です。
```

Ansibleホストインベントリの編集

- 設定ファイルのコピー(ホストインベントリ)

```
sudo c -pi /etc/ansible/hosts /path/to/backup/directory/ansible_hc$(date +%Y%m%)
# 任意のバックアップディレクトリを指定します。
```

```
diff -u /etc/ansible/hosts /path/to/backup/directory/ansible_hc$(date +%Y%m%)
# 差分がないことでバックアップを確認します。
```

- 設定ファイル修正

以下のファイルを、教義・信仰に沿ったエディタで編集します。

/etc/ansible/hosts

- 編集内容

```
[clients]
[クライアントのIPアドレス] ansible_ssh_user=[ホストのユーザ名]
```

Ansibleの設定確認

以下のコマンドを実行します。

```
ansible client-m ping
```

次の結果が返ってくれば成功です。

```
(クライアントのIP) | SUCC! => {
  "ansible_facts": {
    "discovered_interpreter_python": "/usr/bin/python3"
  },
  "changed": false,
  "ping": "pong"
}
```

以下のようなメッセージは今のところ無視して大丈夫です。

```
discovered Python interpreter at /usr/bin/python3, but future
installation of another Python interpreter could change this. See
https://docs.ansible.com/ansible/2.9/reference\_appendices/interpreter\_discovery.html for more information.
```

これで、Ansibleサーバの簡単な検証が行えました。

ファイル

O_春節でパソコンを使うお姉さん2024010510(ftmm).jpg	225 KB	2024/01/05	手動人形
--------------------------------------	--------	------------	------